

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日：令和7年10月14日

事業者名：揖斐郡森林組合

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標		
環境	森林整備の促進を通じて、健全な森林資源の維持とCO2吸収量の向上に取り組んでいる。間伐や植栽などの計画的な整備により、森林の多様性と成長を支え、炭素吸収源としての機能を高めている。	⑥安全な水とトイレを世界中に、⑬気候変動に具体的な対策を、⑯陸の豊かさも守ろう	森林整備を計画的に実施することで、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでおり、令和6年度には180t-CO2、令和7年度には491t-CO2のG-クレジット認証を受けている。これにより、環境負荷の低減と地域におけるカーボンニュートラルの推進に貢献している。	指標	二酸化炭素の吸収量	
				目標	2030年度までに、G-クレジット800t-CO2、J-クレジット1,000t-CO2の認証取得を目標としており、計画的な森林整備の推進と吸収量の可視化を通じて、温室効果ガスの排出抑制とカーボンニュートラルの実現に貢献する。	
社会	地元小中学校の職場体験を受け入れる	④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も、⑪住み続けられるまちづくりを	令和6年度 3校受入れ	指標	地元小中学校の職場体験受入れ件数	
				目標	令和9年度までに延べ10校受入れ	
経済	令和6年度には衛星通信サービス「スターリング」を導入し、携帯圏外の森林整備現場における通信環境を改善。これにより、現場との情報共有や作業指示が円滑化され、業務の効率化と就業環境の向上につながっている。また、事務業務においてはペーパーレス化や電子決裁の導入を進め、処理の迅速化と事務負担の軽減を図っている。	⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任 つかう責任	令和7年度に衛星通信サービス「スターリング」と現場用タブレットを導入し、携帯圏外の森林整備現場における通信環境と作業効率の改善を図った。これにより、現場との情報共有や報告業務が円滑化され、時間外勤務は令和6年度比50%削減した	指標	電子決裁の導入率	
				目標	2030年までに電子決裁の導入率60%以上を目指す	
ガバナンス	チェック <input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。  <具体的な内容を記載>				
	チェック <input checked="" type="checkbox"/>	重点項目について組合内で共有を図っている				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。				
		SDGsの取組み記載ページのURL : <a href="https://www.ibishin.org/pages/49/">https://www.ibishin.org/pages/49/</a>				